

## 倶多楽の火山活動解説資料（平成29年3月）

札幌管区気象台  
地域火山監視・警報センター

火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、噴火の兆候は認められません。  
噴火予報（噴火警戒レベル1、活火山であることに留意）の予報事項に変更はありません。

### ○ 活動概況

#### ・ 噴気などの表面現象の状況（図1、図2-①）

日和山山頂爆裂火口の噴気の高さは火口縁上概ね50m以下で、噴気活動は低調に経過しました。また、今期間は大正地獄の熱湯噴出は観測されませんでした。

#### ・ 地震及び微動の発生状況（図2-②）

火山性地震は少なく、地震活動は低調に経過しました。

火山性微動は観測されませんでした。

#### ・ 地殻変動の状況（図2-③）

GNSS<sup>1)</sup> 連続観測では、火山活動によると考えられる地殻変動は認められませんでした。

1) GNSS (Global Navigation Satellite Systems) とは、GPSをはじめとする衛星測位システム全般を示す呼称です。



図1 倶多楽 南南西側から見た日和山、大湯沼及び地獄谷周辺の状況  
（3月28日、414m山監視カメラによる）

この火山活動解説資料は札幌管区気象台のホームページ(<http://www.jma-net.go.jp/sapporo/>)や気象庁のホームページ(<http://www.data.jma.go.jp/svd/vois/data/tokyo/volcano.html>)でも閲覧することができます。

この資料は気象庁のほか、国土地理院及び北海道大学のデータも利用して作成しています。

資料中の地図の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の『数値地図50mメッシュ（標高）』を使用しています（承認番号 平26情使、第578号）。

次回の火山活動解説資料（平成29年4月分）は平成29年5月11日に発表する予定です。

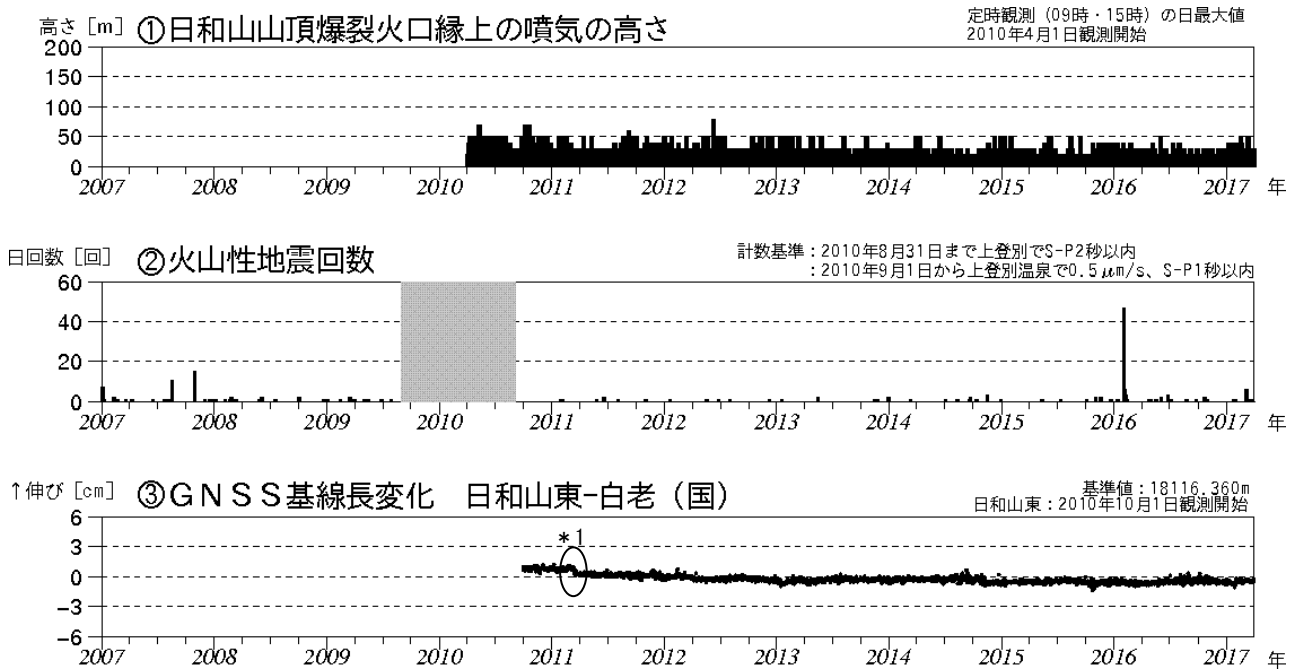
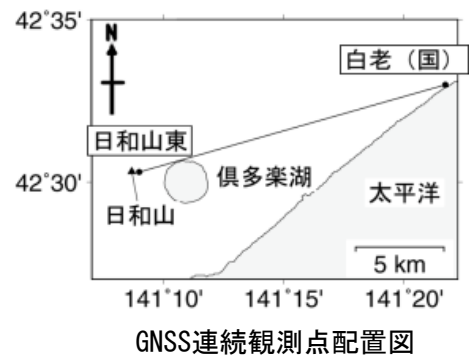
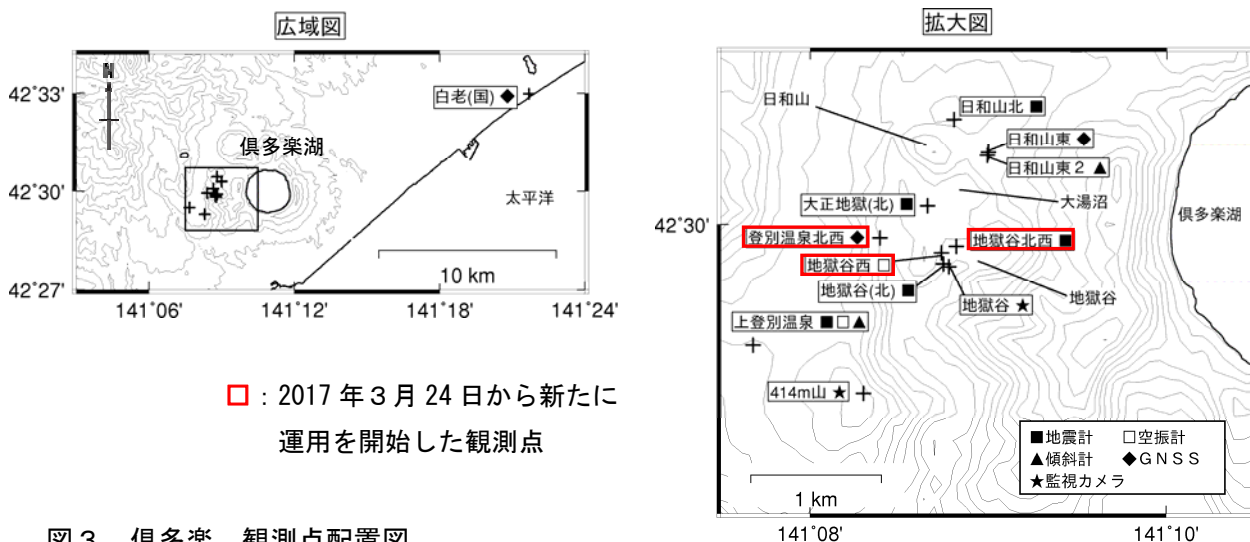


図2 倶多楽 火山活動経過図 (2007年1月～2017年3月)

- ・ ②の灰色の期間は機器障害による欠測を示します
- ・ ③のGNSS基線は右配置図の基線に対応しています
- ・ (国)：国土地理院
- ・ \* 1：楢円内の変動は、2011年3月11日に発生した東北地方太平洋沖地震の影響によるものであり、火山活動によるものではありません





□ : 2017 年 3 月 24 日から新たに運用を開始した観測点

図 3 倶多楽 観測点配置図

広域図内の口は拡大図の範囲を示します

+印は観測点の位置を示します

気象庁以外の機関の観測点には以下の記号を付しています

(国) : 国土地理院

(北) : 北海道大学

気象庁観測点一覧表 倶多楽（緯度・経度は世界測地系）

2017 年 3 月 24 日から新たな観測点の運用を開始しました。

記号	測器種類	地点名	位置				観測開始日	備考
			北緯(度分)	東経(度分)	標高(m)	設置高(m)		
■	地震計	上登別温泉	42 29.50	141 07.68	327	-99	2010 年 9 月 1 日	
		日和山北	42 30.43	141 08.81	291	-3	2016 年 12 月 1 日	広帯域
		地獄谷北西	42 29.91	141 08.82	225	-1	2017 年 3 月 24 日	
□	空振計	上登別温泉	42 29.5	141 07.7	327	2	2010 年 9 月 1 日	
		地獄谷西	42 29.9	141 08.7	216	2	2017 年 3 月 24 日	
★	監視カメラ	414m山	42 29.3	141 08.3	410	13	2010 年 4 月 1 日	可視
		地獄谷	42 29.8	141 08.8	210	5	2016 年 12 月 1 日	可視、熱映像
◆	GNSS	日和山東	42 30.3	141 09.0	308	6	2010 年 10 月 1 日	
		登別温泉北西	42 29.9	141 08.4	240	4	2017 年 3 月 24 日	
▲	傾斜計	上登別温泉	42 29.5	141 07.7	327	-99	2011 年 4 月 1 日	
		日和山東 2	42 30.3	141 09.0	303	-15	2016 年 12 月 1 日	

□ : 新たに運用を開始した観測点

広帯域地震計：噴火に先行して発生する可能性のある低周波地震や傾斜変動等を精度よく捉えることが出来る地震計